勿来町の吹風殿で行われた「薪能」。夜間にかがり火を焚（た）いて上演され、観客が〝幽玄の美〟を堪能＝二〇一九年

# されど、マイウエイ

## PART・58

## 市民6人に思い聞く

情熱は燃え立つ意欲だ。「自分の道」を決めて歩む時、困難を乗り越える原動力になる。大切なのは持ち続けること。分かりやすく表出されているかは問題ではない。例えば「能楽」は、能面で顔を隠し、静寂の中に感情や情景を描き出す。内なるエネルギーは細部に表れるのだ。それが継続を通じ、大きな変化を生み出す。

胸中で〝炎〟を燃やし続け、その道をたゆまず進み続ける市民六人に思いを聞いた。「されど、マイウエイPART・58」